

様式第3号(第9条関係)

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和4(2022)年度第2回みよし市学校給食センター運営委員会		
開催日時	令和5(2023)年2月22日(水) 午後2時から午後2時45分まで		
開催場所	みよし市立学校給食センター2階 会議室		
出席者	【委員】 平川哲也委員長 西尾泉、天野智加子、井上朋美、西堀加奈子、 坪井有加利、西野吉栄、寺西花菜子、熊野麻子、 柴田美佐里、山田侑佳、磯村未来、土屋智子、清水千晴 【事務局】 増岡教育長、伊藤学校給食センター所長 近藤栄養教諭、松永主任主査		
次回開催予定日	令和5(2023)年7月		
問合せ先	教育部学校教育課学校給食センター(杉浦、松永) 電話 0561-32-0100(直通) メール kyushoku@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	・議事録全文 ・議事録要約	要約した理由	
審議経過	別紙のとおり		

令和4(2022)年度第2回みよし市学校給食センター運営委員会 会議録

日 時 令和5(2023)年2月22日(水) 午後2時から午後3時まで

場 所 みよし市立学校給食センター2階 会議室

【事務局（伊藤学校給食センター所長）】

本日は、ご多用の中ご出席いただきありがとうございます。定刻になりましたので、ただいまより令和4年度第2回みよし市学校給食センター運営委員会を開会いたします。

初めに礼の交換をいたします。皆様ご起立ください。

一同礼。ご着席ください。

本日、小中学校教頭代表 橋口様、学校の校医 大澤様、保育園父母の会代表 永田様よりご欠席のご連絡をいただいております。

本日の出席者数は、14名になります。これは、みよし市立学校給食センター管理規則第9条第2項に規定する定足数の過半数を超えております。本委員会は、成立しましたことをご報告いたします。

また、本日の会議は公開の会議ではありますが、傍聴の申し出はありませんでした。

はじめに、教育委員会を代表しまして、みよし市教育長増岡がご挨拶を申し上げます。

【増岡教育長】

皆さんこんにちは。年度末のお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。学校は初めて2月の県立高校一般入試ということで、今日の朝も中学生が、試験会場に向かって汗を流しながら自転車をこいだりみんなで集まって歩いていたりする姿を見ることが出来ました。立ち番をしながら、頑張ってきていよと言うと「はい」と笑顔で行くのはいいのですが、車道をふらふらしながら乗りなれない自転車で高校へ向かっていく様子を見て、ちゃんと会場に着いて力を発揮できるといいな、とそんなことを思いながら、過ごしておりました。皆さんも同じような気持ちで後期を過ごしているのではないかと思います。本日は、給食センターの運営委員会ということでお集まりいただきましたが、1回目は前任の今瀬が、2回目は交代して私増岡が参加させていただきます。皆様にはいろいろなご意見を出していただきながらみよしのこどもたち全員においしくて安全な給食を安価に提供できるように、それぞれの思いをご意見として出していただけたらと思います。

今日さば缶のニュースが話題になって70円くらい上がるというおりましたが、みよしの子供たちはさばが好きな子が多いので、高くなったらどうしようと思いつつニュースを見ていたのですが、とりあえず小学校・中学校・保育園ともに、物価高騰分の材料費について増額分は市で負担していこうと、昨年からの補助をしておりますが、他

の市町村だと、給食費無償化、そんな話もたくさん出ているわけです。ただ、学校給食法でいくと、材料費は保護者負担ということが書いてあります。今は急場しのぎで、増額分を市が補助していますが、この後、どっちにころぶかわからないような状態ですので、給食費についての話も今日出るかと思いますが、そんなことを意識しながらご意見いただけるとうれしいです。

あともう1点、給食センターですが、実は大規模改修したものの、近隣の住民の方に、ダクトの音がうるさいとご意見いただいて、防音工事をやることになりました。そのことも、お集まりの皆さんには知っておいていただきたいなと思います。

最後に、今日平川校長先生の学校で、お弁当の配膳の様子を拝見させていただきました。一緒に給食も上に運んだりしましたが、話を伺うと、やっぱり給食のほうがおいしいなということを、子供たちは言っているそうなので、そのおいしい給食が来年からも提供されるよう、ご意見をよろしくお願いします。以上です。

【事務局（伊藤学校給食センター所長）】

ありがとうございます。

それでは、ここからは、管理規則第8条第3項の規定により、平川委員長に進行をお願いいたします。

【平川委員長】

それでは、次第に沿って進めてまいります。よろしくお願いします。『議事1 令和5年度学校給食献立について』事務局から説明をお願いします。

【事務局（伊藤学校給食センター所長）】

お手元の資料の右上に資料1と書いてあるものです。令和5年度給食献立年間計画になります。こちらに関してはこの運営委員会の後に、同じメンバーで、給食献立作成検討会議を予定しておりますので、そちらのほうで詳しいお話をさせていただこうと思いますので、この場では割愛させていただこうと思います。

【平川委員長】

ありがとうございます。後からということですので、またそのときによりしくお願いします。

【事務局（伊藤学校給食センター所長）】

「令和4年度学校給食業務実施状況について」説明させていただきます。資料2をご覧ください。

前回の会議で、今年度の事業計画についてお伝えしました。2月も終わりに近づき、1年間事業を実施してまいりましたので、そのご報告です。

まず、学校給食の運営に関する事業です。

(1)調理場内の衛生管理です。学校給食の調理業務は、文部科学省の学校給食衛生管理基準に基づき進めることとなっています。①から③は、愛知県学校給食会による食器や食材の検査です。3月に予定しているものもありますが、細菌数の検査や調理場の使用方法、器具の取扱いが適正かどうかの点検等を行います。④は、愛知県薬剤師会による水道水・給湯水の検査を年3回行いました。⑤は、学校薬剤師に年3回調理場を見ていただき、衛生管理の状況が適正かどうかご指導をいただきます。

実施済みの検査の結果はいずれも良好で、適正な衛生管理を行い給食の調理ができていくことの確認をとっています。

(2)職員の衛生管理です。毎月の腸内細菌検査と、ノロウイルスの流行期におきましては、月1回ノロウイルスの簡易検査を職員全員に行っており、適正な体調で調理または事務にあたっていることの確認をとっています。

次に、給食センターの維持管理、施設、設備関係の事業です。

(1)工事では、今年度、夏休み中に給食センターの防音工事を行う予定でしたが、入札が不調に終わったため、応急対応として①の仮設防音工事で防音シートをつけました。本工事である②防音対策工事を行うまで継続して設置します。②防音対策工事は、部品調達の関係で既に契約を締結しており、令和5年度の夏休みに現場工事を行う予定です。この期間の保育園への給食提供は中止とさせていただきますが、小中学校は夏休み期間中であり、学校給食の中止は予定しておりません。

(2)修繕です。今年度は、金額の大きなものとして食器洗浄機オーバーホール修繕を行いました。躯体以外の部分をオーバーホールすることにより、中身は新品同様の状態になりましたので、順調に使用しております。

給食センターのその他の事業としまして、今年度は6月7日に名古屋グランパス30周年記念給食を行い、緑丘小学校では選手に来ていただき交流もありました。また、今月の28日には、お配りしたパンフレットにある「いいともあいち運動」の応援として、調味料を除き全て愛知県産食材で提供する「まるっと愛知県産給食」を予定しております。

次のページをご覧ください。給食調理等委託事業です。みよし市給食協会に給食の調理全般の業務を委託して行っています。食数は予定ですので、実際に食べた食数で3月に精算します。

実績見込みの表1の3行目「給食中止等」の詳細が表2です。台風で急遽給食が中止になった場合、コロナやインフルエンザなど、学級閉鎖で給食が中止になった場合、出来る限り食材のキャンセルを手配します。しかし、やはり前日となるとキャンセルがきかないものが発生してきてしまいます。そういった食材については、前日の10時までに学校からセンターへ連絡が入ると保護者からの給食費徴収はしませんが、市が材料費を負担することとしています。今年度に関しましては、台風による給食中止はありません。

んでした。学級閉鎖は、数が多く、7月以降毎月発生しています。

次は、給食協会運営補助事業です。こちらは給食協会の運営に必要な人件費、事務費等は、補助金として市から協会へ補助しています。こちらは、年度末に精算を行います。

ここまでの、今年度の事業の実施状況になります。

次のページ6番、令和5年度学校給食業務について、主立ったもの、例年と異なるものを抜粋しました。

先ほども報告させていただきましたが、まず夏休み中に防音対策工事を行います。

(2)修繕では、カートイン蒸し機オーバーホールを予定しております。調理場使用する蒸し器で厨房機器です。平成15年度建設当時から使っており、もうすでに老朽化しておりますので、躯体以外の部品を更新するオーバーホール修繕を行うよう、予算計上しております。

(3)備品購入です。経年劣化による修繕を毎年行っていますが、プレハブ型冷凍冷蔵庫と、高速度ミキサーを更新するため予算計上しております。

(4)イベント給食として、①オイスカ給食は、41の国と地域で農村開発や人材育成活動を展開する国際NGOとして、オイスカという組織がありますが、豊田市にあるその公益財団法人オイスカ中部日本研修センターの外国人実習生が育てた作物である大根とニンジンを使用した献立を提供します。作物の収穫時期に合わせた日程として5月の提供になるかと思えます。②給食用非常食は、近隣の工事による影響や、災害や衛生管理上の問題が発生し、給食センター施設が使用できない場合に備え、レトルトカレーを市費で購入します。それを各学校で備蓄していただき、その後は防災に対する意識を高めるため、年一回防災の日に給食として提供させていただく予定です。それを毎年繰り返すことにより、ローリングストックという方式で、給食を提供することを予定しております。このレトルトカレーはアレルギー対応食となっておりますので、アレルギーがあっても喫食できる予定です。

以上が令和4年度学校給食業務実施状況についてとなります。

【平川委員長】

ただいま説明がありました。質疑のある方は挙手のうえ発言をお願いします。いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。では意見がないようですので『議事3 学校給食費について』事務局より説明をお願いします。

【事務局（伊藤学校給食センター所長）】

資料3をご覧ください。

この運営委員会は、学校給食の重要事項について審議していただく場ですが、その中で、学校給食費についてという項目があります。今後の学校給食費について運営委員会

としての方向性を定めていただければと思っています。

まず、現状について説明させていただきます。現在、給食費は、一食当たり小学校 240 円、中学校 270 円、給食センターは 300 円です。平成 24 年度に金額の改定をして以来、今年度まで引き続き同じ金額です。

これに対して、食材料費は市から一部を補助することにより小学校 260 円、中学校 295 円となっております。今年度は、特に物価高騰が著しかったため、年度途中で市からの補助額を増額しております。給食センターも小学校量と同じ食材料費ですが、食材料費を超える部分については光熱水費として市の歳入に入れております。

物価高騰への対応策としまして、市からの補助を増額したうえで、食材選定に苦慮しながら対応しています、未だ上昇は続いており、先が見えません。

学校給食は、文部科学省告示で 1 食当たり摂るべき栄養価が定められていますので、それは守る必要があります。単なる栄養価を得るための食事ではなく食育の面でも、季節の行事や地産地消への取組、様々な楽しい食体験を経験してもらうことも給食で求められており、「生きた教材」としての重要な役割も担っています。

しかし、今後の懸念材料にあるとおり、どうしても価格優先になってしまいますので、安い食材を選ばざるを得ないということもあります。そうすると、使える食材のバリエーションが減っていきます。

また、食材料費の内訳は、主食であるパン・ごはん、牛乳、副食であるおかずからなっています。主食と牛乳の価格は県下一律で決まっております。比較し易いように税抜価格とさせていただいておりますが、表にあるとおり、白飯の価格は、平成 24 年度と少ししか変わっていませんが、牛乳は上昇傾向が見られます。このように食材にあてることができる金額は変わっていないが、主食と牛乳の価格が上がっているため、給食費内で給食を作るためには、副食にあてられる分が減ることになります。その副食の材料費についても、物価が上昇しているため、今年度は市で補助することになっております。

これら給食の現状と将来的な懸念事項を総合して、給食費の値上げはやむを得ないと考えています。ただ、市としては、児童生徒が食べる給食の保護者負担は軽減する方針ですので、当面、資料 3・4 にあるとおり、児童・生徒の給食費は現状維持します。ただし、教職員と、学校や給食センターで試食をする方は、本来負担すべき食材料費の全額を負担してもらおうと思っています。次 1 枚めくっていただくと、2 月 6 日付け市内小中学校長あての案内がありますが、既に、来年度、教職員の方については、材料費の負担をお願いしますという文書を出させていただいております。

本日この場で、説明を聞いて感じられたこと、小中学校の現場、保護者のお立場等からのご意見やご提案、ご質問をいただければと思っています。以上です。

【平川委員長】

ただいま、『給食費について』説明がありました。質疑のある方は、挙手の上ご発言

をお願いいたします。

いかがでしょうか。

給食費は来年度、今年みたいに途中で上げるということはありませんか。

【事務局（伊藤学校給食センター所長）】

あり得ます。つい最近、令和5年度の上半期の納入業者の選定を行ったのですが、どれも値段が上がっています。なので、また市の財政当局とも相談しますが、たぶん保護者負担はそのまま市の補助をどれだけ上げるかという相談になります。

【平川委員長】

今は市として、保護者負担については上げるつもりはないという感じでしょうか。

【事務局（伊藤学校給食センター所長）】

はい。

【平川委員長】

県の校長会の給食委員会に出席したが、給食費については真ん中くらい。もっと多く負担しているところもありますし、ただ、最初に話があったように無償でやっているところも実際あって、随分違う。センター方式ではなく、自校給食をやっているところも結構あっていろんな地区のことも聞かせてもらったけれど、給食費は材料費が上がっているなら上げざるを得ないとどの市町も言っていたので、そこは仕方がないと思っています。ほかの意見はどうですか。

なかなか難しいですが市の方針でなんとかやっていただければと思います。

【事務局（伊藤学校給食センター所長）】

当面の間、保護者負担はそのままです。ただ、教職員の方は材料費を負担していただいているので、もし材料費が上がってしまうと、市の補助が増えれば教職員もそのまま増えることになってしまうのでそこはご理解いただきたいと思います。

【平川委員長】

私たち教職員も児童と同じだと思っていたのですが、よその市町も初めから教職員は負担するということも多くてびっくりしました。

【事務局（伊藤学校給食センター所長）】

財政ともやりとりしたのですが、児童・生徒の食べる分を特別扱いするということなので、先生たちは追加負担してもらおうというわけではなく、本来の額を負担してもら

という考えになります。

【増岡教育長】

補助金というか、市は保護者の家計負担をなんとかするために補助するので、子どもたちのためという考え方になります。

【平川委員長】

それも含めてどうですか。熊野委員どうぞ。

【熊野委員】

勝手なことを言うかもしれませんが。例えば他で削れることはないのかというと、給食センターから届く配膳表・献立表はものすごく数が余る。その余っている分は他校でも余っているとすれば印刷代・紙代が減らせる、というのが一つ。各家庭にネットで配信となれば、アレルギー面も早く配信ができるので、毎月アレルギーのある生徒に印刷して配ってとなっているが、時間的余裕も生まれるのではないか、という思い付きで、可能かどうかわかりませんが、印刷分で減らして材料費を上げられないか、と思いました。

【事務局（伊藤学校給食センター所長）】

献立表は毎月市のホームページに掲載しているのですが、紙があったほうが見るのかなということもあります。ネットだとそこに見に行かないと見られないが、紙だと送られてきたときに目を通してもらえるとアレルギーが気になる人は見てもらえるかと思っています。ネットに切り替えるのもありだと思うのですが、踏ん切りがつかないのが現状です。

【平川委員長】

ほかにもご意見どうですか。

【増岡教育長】

給食費のことはPTAの方にご意見をいただけると嬉しいです。どうですか。

【土屋委員】

現状を知ることができて有難いと思います。娘たちは給食が大好きでその給食をこういう値段で提供していただけるのは助かります。栄養面でこれだけの栄養を取るという規定がある、とのことですが、減らしている子も結構多いらしくて、現状ちょっと量が多いと、女の子なのでそう思うのかもしれませんが、男の子はたくさん食べると思いますが、多いとっていました。ただ、おいしくはいただいています。給食費の補助は、

保護者の立場としては助かります。いろんな家庭がいらっしゃるので、急に数十円でも家計の負担が出るということに対して、どうってことないと思われる方もいるけれど、やはり一生懸命やりくりする中で少しでも楽にと考えていただけたら有難い。ずっと据え置きというのはありがたいと思って、聞いておりました。

【平川委員長】

磯村委員、どうですか。

【磯村委員】

土屋さんと一緒ですが、市から補助をいただいてずっと据え置きというのは家庭的にも非常にありがたいことで、名古屋市では給食がでなくて、みよし市では中学校も給食をいただけるので、そういう面でも非常にありがたいです。

【事務局（伊藤学校給食センター所長）】

給食費だけみると市の補助もあり他の市町より低いように見えるかもしれませんが、けして安く済ませているわけではなく、それなりにやっていますので安心していただければと思います。

【平川委員長】

よろしくお願いいたします。では、議事4 みよし市給食協会法人化の検討について事務局から説明をお願いします。

【事務局（伊藤学校給食センター所長）】

資料4をご覧ください。

学校給食の調理等業務を受託している「みよし市給食協会」は、現在市の財政援助団体であり、市から多額の費用が支払われているものの、実情は法人格を有しない任意団体であります。市としては、みよし市の学校給食を担う組織として継続性及び社会的信用力を高めるために、法人化を促していくつもりです。

来年度、給食協会の理事会で審議をしていただき、翌年準備委員会を設けた後、令和7年度には一般財団法人として登記申請してもらいたいと考えています。

費用は、記載のとおり初期費用と、税金として法人税均等割り額を見込んでおり市で負担してく予定です。

運営委員会としましては、法人化に対する決議を行うことはありませんが、給食協会の現状を知っていただき、ご意見があれば伺いたいと思います。

【平川委員長】

ただいま事務局より説明がありました。質疑のある方は、挙手の上ご発言をお願いいたします。いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

では全体を通してでも構いません。何かがご質問などありますか。

では質問がないようですので、本日提出されました3件の案件については全て審議を終了しました。皆様議事進行にご協力いただきありがとうございました。これで議長の職を終わらせていただきます。ありがとうございました。

【事務局（伊藤学校給食センター所長）】

委員長ありがとうございます。委員の皆様には、ご意見をいただきありがとうございました。

本日、委員として衣浦東部保健所の食品安全課長の清水様にご出席をいただいております。清水様からご講話をいただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

【清水委員】

衣浦東部保健所の食品安全課長の清水と申します。よろしくお願いいたします。

日ごろから衛生行政にご協力いただきありがとうございます。新しい年が始まりまして2022年というところですが今日お持ちしたのは2021年度の食中毒の状況であります。2022年の統計はできたのですが、まだ資料は整っていません。2022年がどんな感じだったかという、件数的には愛知県50件、患者は575人ということで、例年どおり、横ばいで少し増えたというところです。なぜこの資料かという裏側に食中毒の原因に病因物質が書いてあります。これの順番が2022年と全く一緒、一番がアニサキス、二番がカンピロバクター、三番がノロウイルスということで、順番が変わっていません。アニサキスはご存じの通り魚の寄生虫で生魚を食べない・つからないものになります。これが第一位です。一位の理由はいろいろな説がありますが、どれが正しいのかよくわかりません。いわゆる冷凍技術が発達し、生のまま食べられる状態に遠いところから運ばれて皆様の食卓に運ばれてくるようになったからではないかと、これが一番有力説です。二番目は、海水の水温が上がったことによって、アニサキスが増えてきているのではないかと。いままでアニサキスがあまり知られてないような魚種まで、アニサキスが見つかる状況です。アニサキスが見つかる魚というのは海の中層を泳いでいる大きな魚の糞を食べる小さな魚にアニサキスができる。海水温が上がったことにより中層よりもっと下までいられるようになってしまっていて、そこを這っている魚から見つかる。今までもいたのか、そのせいなのか変わっていませんがそのような説を唱える方もいるということでもあります。

その次、第二位がカンピロバクター・ジェジュニ。これは鶏肉とか生で食べる、「う

ちの鶏肉は新鮮だから生で食べられる」みたいなことも言われることもあるのですが、実をいうと本当に新鮮なのです。なぜかという、このカンピロバクターというのは、ちょっとだけ酸素があるのが大好きな細菌なのです。つまり、古くなってくると酸素がいっぱいある状態にいと死んでしまうので、新しいのです。カンピロバクターがでるような鶏肉というのは非常に新しいということは言えるし、新しくて美味しいのは間違いないのですが、しっかり加熱して食べてもらってこのカンピロバクターを防いでいただければと思います。鶏肉も中まで白くなるよう加熱してもらい、鶏肉を置いたまな板や包丁は洗ってから次の作業に移っていただくようにして、家庭でもカンピロバクターに注意していただければと思います。

次の三番目ノロウイルスということで、実は豊田市で2月17日に大きな給食事業所が、食中毒事件を起こしております。食べた方は7000人くらいいらっしゃって、患者は調査中でどれくらいいるかはまだわからないところでありますけれども、ノロウイルスは学校・お子さんのほうでじわじわと感染性胃腸炎が増えてきているところです。ご家庭でお子さんが、下痢や嘔吐の症状を見せるようなことがございましたら、このウイルスの可能性があります。このノロウイルスがどのくらい強いかというとウイルス10個ぐらいで感染が成立してしまいます。非常にウイルスの量が少なくても感染が成立するのでうつりやすいです。大体1グラムで、10億ぐらい体の中でノロウイルスを作ってしまう。そういう下痢をしているお子様と一緒に風呂に入ると、一緒に入った子がちょっと1グラムくらい糞便を垂れ流してしまうと、その水の中に、1億ぐらいウイルスが漂うことになってしまいます。その水で顔を洗って口についてなめると10個くらいは含んでしまうかもしれない。おなかの調子が悪いお子さんがいらっしゃった場合には、お風呂は一番最後に、一緒に入るときは気をつけて、自分自身の健康も注意していただき、またおむつ替えには必ず手を洗っていただき、その他の子供さんの食事の提供しないように注意してください。ウイルスについては増えてきておりますので気を付けていただければと思い、この資料をお持ちしました。

保健所といいますとコロナの話を抜きにしてこの一年間語ることができないですが、現状第8波、だいぶ落ちついてきております。

昨年の12月頃一週間で7000人弱患者がおりましたけれども、先週は800人くらいまで落ちてきています。落ちてきてはおりますけれども、次の新しいタイプみたいなものも取りだたされておりますので、高熱・発熱がある場合はコロナについて気を付けていただきながら思っております。今後マスクについて使うか使わないかいろんな問題もございまして、5月には5類に落ちていくような情報も来ています。5類になるとどうなるかという、今までお医者さんが全数把握しなければなりませんでしたが、一定の病院だけが届出る、どれだけはやっているかだけわかる状況になっています。どこの病院でも診てもらえるようになる、医療が充実するといわれていますが、現実には診てもらえない経験もあるかと思えます。コロナの後、どうやって生活していくのか、学校現場

が、これから模索していかなければならないと思っておりますけども、皆様と一緒にコロナの後の生活について考えていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。御清聴ありがとうございました。

【事務局（伊藤学校給食センター所長）】

ありがとうございます。

それでは今年度の運営委員会につきましては、今回で終了となります。委員の皆様については、1年間ご協力をいただきありがとうございました。

令和5年度の第1回運営委員会につきましては、7月頃を予定していますが、来年度委員となられる皆様へ改めて通知をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

以上をもちまして、「令和4年度第2回みよし市学校給食センター運営委員会」を終了させていただきます。皆様ご起立ください。

一同礼。ありがとうございました。

（午後2時45分終了）